

いざといふ時、何ができるか。

地域の為に  
何か役立ちたいという  
気持ちがきっかけでした。



会社の仲間も参加している  
と聞いて…こんな身近で  
活躍できるとは。

学生団員として、まちを思いやる心で参加しています。



新宿消防団 第7分団  
岸 健太郎さん

消防団がいかに地域の安心・安全の為に努力しているか、入ってみて実感しました。学生団員としては、活動を通じて地域の方と顔なじみになれるのも嬉しいですね。僕らとともに、まちをより深く知り、愛し、守ってみませんか？

**入団概要**

消防団の入団資格は、市町村ごとに条例で定められていますが、一般的に、入団を希望する18歳以上で、その市町村に居住しているか、または、勤務している人なら、男性でも女性でも入団できます。

詳しくは、居住している（あるいは勤務している）市役所・町村役場か最寄りの消防署までお問い合わせください。

**消防団の待遇は**

消防団員には、多くの市町村で年額報酬（数万円程度）や災害活動または訓練に出動した際の手当（1回あたり数千円程度）などが支給されます。

**公務災害補償**  
消防団活動中に負傷した場合の補償制度があります。

**被服の貸与**  
消防団活動に必要な被服が貸与されます。

**退職報償金**  
一定期間以上勤務して退団した際には、退職報償金が支給されます。

**表彰制度**  
職務にあたって功労、功績があった場合には、表彰されます。

※各市町村・各消防団で、制度の内容は異なります。



消防団メルマガ



<http://www.fdma.go.jp/syoboden/magazine/>

お問い合わせ先

# たよれるまちのサポーター! 消防団員募集

自分を  
守るために  
災害から



私たちには、チカラになれる。



自営業の私は、  
親父と共に消防団で  
頑張っています。



消防団の制服姿に  
あこがれて。身もココロも  
引き締まります。

# 消防団は、いろいろな人たちのチカラで成り立っています。



## 消防団の活動とは？

消防団とは、その地域に「住んでいる」「働いている」人によって構成される市町村の消防機関です。一人ひとりが、それぞれの仕事を持ちながら、「自分たちのまちを、自分たちで守りたい」というココロで、全国で約89万人が様々な活動を行っています。消火活動や救助活動だけではなく、火災を起こさないための住宅防火訪問や、応急手当の知識や技術などをより多くの人に習得してもらうための普及活動など、誰にでもできることがたくさんあります。



## 消防団は消防署と違います。

“地域のことをよく知っている”消防団は、地域に密着した効果的な消火活動・救助活動を行います。常勤の地方公務員として消防署に勤務する消防職員と異なり消防団員は、平素は生業を持ちながら火災や大規模災害発生時に、自宅や職場から災害現場などへ駆けつける非常勤特別職の地方公務員です。



## 女性たちの活躍

### 女性消防団員は…



新潟市消防団  
秋葉方面隊  
班長 三輪 信江さん

私たちは幼稚園や保育園を訪問し、防災教室を行っています。やりがいは、何といっても子どもたちの笑顔です。この笑顔が決して失われることのないように、身の守り方をしっかりと伝えていきたいと思います。



### 地域の安心・安全のために活動してみませんか？



千葉市消防団 若葉区方面隊 第11分団

分団長 松本 英明さん

様々な職業に就いている方たちが集まり、普段の生活ではなかなか接点のない人の交流もあり、新たな発見があります。現在、多くの消防団では、消防団員の減少や高齢化が進んでおり若いあなたの力を求めています。

## 事業所の理解と協力

### 消防団協力事業所表示制度



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク

事業所が消防団に協力することは、地域への多大なる社会貢献であることから、消防団の活動に積極的に協力している事業所を「消防団協力事業所」として認定する制度です。これらの事業所が増えることにより、地域防災体制の一層の充実が図られます。

従業員が消防団員として、相当数入団している。

従業員の消防団活動について積極的に配慮している。

災害時等に事業所の資機材を消防団に提供するなど協力をしている。



## 特定の活動への参加

### 機能別消防団員・分団制度

特定の役割や活動を限定して参加するのが「機能別団員・分団」です。災害時から平常時まで様々な活動において、多くの人が参加しています。

#### 機能別団員

火災予防・広報団員

OB団員

#### 機能別分団

バイク隊

女性消防分団

水上バイク隊

大規模災害のみ活動する分団

### 技術を活かし社会に貢献



武藏野市消防団  
第1分団

班長(重機隊)  
田島 光明さん

普段、仕事で重機を使っていますが災害時に自分の技術が役に立つと思うと、仕事にもより緊張感を持って取り組むことができます。今後も一層の技術向上を目指していきます。

※活動の種類や内容は、消防団によって異なります。

※活動範囲は、事前の取り決めなどにより決定されます。